

一般質問



子ども食堂・コミュニティバスについて



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

子ども食堂について

問 過去の答弁では前向きな方向性を示されたと認識していますが、進捗をお尋ねします。

答 今後、実際に子ども食堂を運営いただいている各運営者様にヒアリングを実施し、運営課題を汲みとった上で、安定的継続的に事業運営できるような制度設計を行います。

コミュニティバスについて

問 高校生がバスの遅延で電車に乗れず、登校がままならないといった事実も起きています。路線の見直し、新しい体制になってからの課題とその対応についてお尋ねします。

答 各路線の調査を実施し、現状把握を行ったところでは、乗れない、使えないバスでは、今後の利用に影響することが考えられるので

運転手確保に取り組み、交通需要に対応できるよう努力します。

問 通学の不便さは、若者の流出に直結します。市長は「移動手段のサービスですら、行政は叶えられない」とおっしゃいましたが、移動手段のサービスこそ行政が考えるべきで、行政がやらなければ誰がやるんだ！というのが私の思いです。朝夕の通勤通学時はバスを集中的に走らせ、昼間利用者が分散する時間帯はデマンド交通を活用するといったスタイルで運行の効率化はできないでしょうか？

答 昼間、利用者が少ない路線でのデマンド交通の活用は、運行方式によっては効果が得られるものと考えていますので、交通事業者を始めとする各関係機関と協議を重ねます。

8月8日

湖南市議会による議会報告会 「湖南市中学校生徒会サミット2024」を開催します

湖南市議会では、市の将来の担い手である子どもたちに、市のまちづくりや市議会への興味・関心を高めてもらおうと、教育委員会とともに市内小学校の児童を対象に「議場体験学習」を実施しています。

また、毎年、湖南市議会では、市政全般にわたって議員と市民が自由に意見を交換する場として「議会報告会」を開催しています。今般、その取り組みの一環として、市内中学校の生徒に自分の暮らすまちのことについての考え、市政への思いや意見を聴く機会として、さらに「主権者教育」(*)を実践する場として、「湖南市中学校生徒会サミット2024」を教育委員会と連携して開催します。

当日（8月8日）は市内中学校4校の生徒会本部役員が湖南市役所東庁舎4階に集結。グループに分かれ各校の生徒会の取り組みや湖南市のまちづくりについて意見交換を行います。出された意見をもとに、グループごとに本会議場で提案発表をしてもらいます。

なお、当日の内容は、10月21日発行の「湖南市議会だより」に掲載する予定です。

(*)「主権者教育」とは…国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと

